おぐに

広報

2022
3
No.809

昨年度に引き続き大雪に見舞われている中、小国町社会福祉協議会の呼びかけに小国高校生18人が応え、除雪作業がままならない一人暮らしの高齢者の住宅で除雪ボランティアを行いました。

降り積もり固まった雪を力強く掘り進める姿がとても頼もしく感じました。

（８ページに関連記事）

彩りゆたかな白い森

かぞえきれないくらいたくさんの色。色。色。

YouTubeチャンネルで町をPR
新作動画が続々登場

こちらから動画を
チェック→

町では、白い森おぐにの魅力を様々な角度から発信しようとYouTubeチャンネル「山形県小国町白い森」を開設しています。

チャンネル登録者数は400人を超え、最も再生回数が多いのは「屋根の雪が落ちるまで」を撮影した3分弱の動画で、なんと31万回を超える再生回数となっています。

その他にも、地域おこし協力隊員が制作した小玉川の熊祭りや大宮神社のしめ縄づくり、舟渡の獅子踊りを紹介する動画や、町が制作したプロモーション動画などを掲載しています。

12月に開催した、食や食文化をキーワードに「白い森おぐに」の魅力を発信する白い森フードツーリズム事業のオンラインツアーではツアーで流すための動画として「民宿の越後屋本間義人さんによる地鶏鍋の作り方の紹介」「本間信義さん、義人さん親子によるマタギ文化の紹介」「kegoyaの柳沢茜さん、Naëbacoの川﨑ひかりさんによる季節ごとの暮らしや自然との向き合い方の紹介」を制作し、YouTubeでも視聴できるようにしています。

また2月には、小国の郷土料理の紹介や、民宿の越後屋の巨大かまくら、町内の若者たちが中心となって伊佐領に制作した雪のお城から生中継したオンラインツアーを開催し、そのダイジェスト版もまもなく掲載する予定です。

これからも、白い森の様々な魅力を伝える動画をどんどん公開していきますので、ぜひご覧ください。

新型コロナワクチンの３回目接種について

新型コロナウイルスの感染拡大防止と重症化予防のため、３回目接種（追加接種）を実施していますが、現在、３月までの予約数が定員に達しました。これから接種券を発送するかたは４月からの日程のご案内となります。

また、接種券が届いていてご予約がまだのかたも４月以降の日程に予約ができますので、ご希望のかたはインターネットまたはお電話にてご予約下さい。

■４月のワクチン接種日程

４月６日㈬から４月21日㈭の間の毎週㈪、㈬、㈭

①14：00～　②15：00～　③16：00～

■予約開始日（接種券の届いているかた）

３月８日㈫９：00～

※職域接種など小国町以外での接種を予定しているかたも接種券が必要となります。
健康福祉課までご連絡ください。接種券を発行いたします。

■問合先　健康福祉課地域保健担当（☎61-1000）へ

中小法人・個人事業者のための

事業復活支援金

コロナの影響を受けた事業の継続・回復を支援

■給付対象（①②を満たす中小法人・個人事業主）

①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者

②令和３年11月～４年３月のいずれかの月（対象月）の売上高が、平成30年11月～令和３年３月の間の任意の月（基準月）の売上高と比較して50％以上または30％以上50％未満減少した事業者

■給付額

【中小法人等】上限最大250万円　【個人事業者等】上限最大50万円

【給付額の算出方法】

平成30年11月～令和３年３月の間で、基準月を含む５カ月の売上高から対象月の売上高の５カ月分を引いた額

■申請期限　５月31日㈫

■問合先　相談窓口（☎0120-789-140）へ
またはホームページをご覧ください。

有料広告募集中　「広報おぐに」に広告を載せてみませんか

毎月１回（3700部、１日発行）

■サイズ

１種　横　8.7cm×縦 5.3cm
２種　横17.85cm×縦 5.3cm　**※このサイズは２種広告になります。**
３種　横17.85cm×縦11.5cm

■金額（１回あたり）　１種　6,000円　２種　10,000円　３種　30,000円

※掲載に関する詳細については、お問い合わせください。

■問合先　総合政策課政策企画担当（☎62-2264）へ

気になったかたはこちらをチェック!!

ごみは減らせる

再資源化へ

日常生活の中で、必ず出る「ごみ」。そのごみは、燃やして処分するもの、粉砕して埋め立てるもの、そして、資源としてリサイクルされるものに分かれています。適切に分別を行うことで、ごみとしてではなく再利用できる原料に形を変えられます。ごみの減量は環境にやさしいまちづくりの第一歩といえます。そこで、今月はごみを減らし再資源化のために一人ひとりができることを考えます。

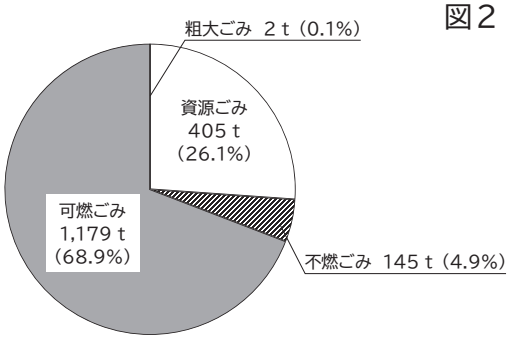
小国町のごみ排出量

令和2年7月に始まったレジ袋の有料化や海洋ごみの増加など、環境問題を身近に考える機会が増えています。こうした問題に私たちの生活の中で最も密接に関わるのは、ごみ減量化・資源化です。

本町を含む置賜地域の全市町では、「置賜広域行政事務組合」を組織し、ごみの共同処理を行っています。燃えるごみと資源ごみは千代田クリーンセンター（高畠町）へ、不燃ごみは長井クリーンセンターに搬入され処理されています。経費については、各市町で負担することになっており、搬入されるごみの量によって市町ごとの分担金が決められています。

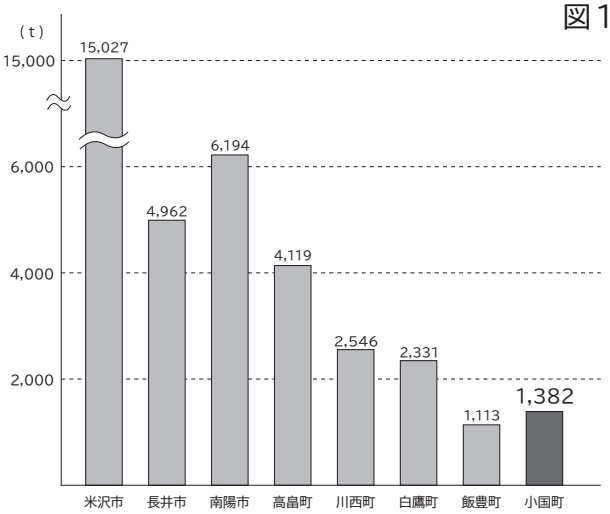
令和2年度に置賜地域全体で各家庭から出

図2



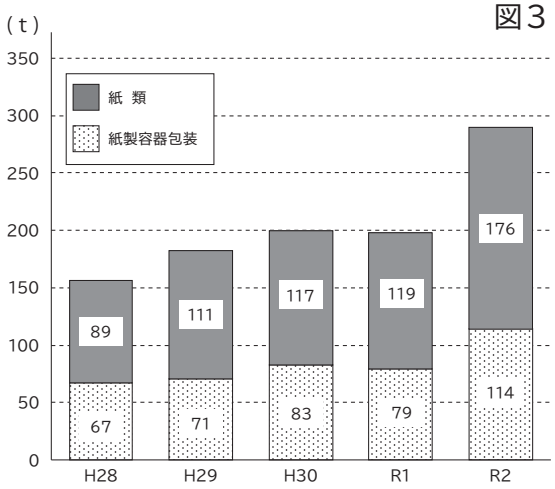
▲令和２年度の小国町のごみの種類別割合

図1



▲市町村別生活系ごみ搬入量
（千代田クリーンセンター業務概要令和２年度版）

図3



▲小国町の紙類・紙製容器包装の
回収量の推移

正しい分別で

された生活系ごみの量は、３万７６７４トンにも上ります。このうち本町から搬出されたものは、１３８２トンです（図１）。人口１人あたりに換算すると１９２・８キロとなり、南陽市に続き２番目に多い量になっています。内訳をみると、生活系ごみのうち、約85％を可燃ごみが占め、そのうち約40％は生ごみです。生ごみには多量の水分が含まれており、その量は全体の80％と言われています。ごみ袋に生ごみを入れる前に水気を切るだけで、ごみの量を減らせ、ごみ袋の購入枚数も減少するなど家計や町の負担の軽減にもつながります。

近年、新型コロナウイルス感染症の拡大により外出の自粛が続いたことで、インターネットなどの宅配サービスを利用するかたが増え、全国的にごみの増加が問題視されています。本町でも、可燃ごみの次に多い資源ごみ（図２）が過去５年間で大幅に増え、特に紙類と紙製容器包装の増加が目立っています（図３）。増えているのは段ボールで、これは、町内でも宅配サービスの利用が増えていると思われます。

▲小国中継施設（リレーセンター・沼沢地内）
町内のごみを集積し千代田クリーンセンターへ搬出しています

ごみの分け方・出し方

小国町衛生組合連合会と町では「ごみの分け方・出し方」のポスターを町内全世帯に配布し、ごみの適切な分別への協力を呼び掛けています。不燃ごみから資源ごみへ変更されたスプレー缶や、不燃ごみの有害・危険ごみとして回収されることになった充電式電池などの変更点を掲載した改定版を3月中旬に配布予定です。

ここでは分別方法のポイントを紹介します。詳細は配布されるポスターを確認してください。

ごみは、収集日の当日、定められた場所へ
午前８時までに出しましょう！

燃やせるごみ
⇒可燃ごみ（赤のごみ袋）

（例）台所ごみ・残飯

⇒ 水分を切って、新聞紙等で包む（ビニール袋は×）

マヨネーズ等の空き容器

⇒ 汚れが落ちないビニール・プラスチックは燃やせるごみに

有害・危険ごみ（透明ビニール袋）

（例）加熱式たばこ
充電式電気シェーバー
充電式電動歯ブラシ

⇒ 金属端子部分にセロテープなどを貼って出す

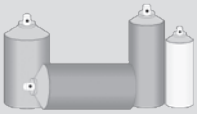
取り外し可能な充電式電池やモバイルバッテリーは、家電量販店などの回収ボックスへ
ごみとして出す場合は、有害・危険ごみで

プラスチック製容器包装／ペットボトル
⇒資源ごみ（黄色の資源袋）

⇒ 原則、上記マークのついているもののみが対象
油等の汚れがおちないものは可燃ごみへ
※電化製品等の箱に入っている包装用の発泡スチロールはプラスチックで

空缶類・空びん類（透明ビニール袋）
※空缶と空びんは別々の袋で

（例）スプレー缶
カートリッジ式ガス容器



⇒ 完全に使い切り穴をあけて空缶類で

古紙類
（紙類ごとに紙紐等でしばる）

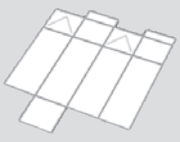
（例）

古新聞

ダンボール

汚れたものは可燃ごみへ

⇒



水洗いして切り開き、重ねてしばる（プラスチックの注ぎ口は取り除く）

古紙類は高橋商店（緑町5－12）へ
直接持っていってもＯＫ

「できること」から

現在、様々な場面でＳＤＧｓ（エスディージーズ）という言葉を聞く機会が増えています。言葉は知っているが、何をすればいいかわからないかたも多いのではないでしょうか。ＳＤＧｓとは、世界が直面するあらゆる問題を２０３０年までに解決することでよりよい世界を保つために設定された17のゴールを指しています。その中に、「⑭海の豊かさを守ろう」「⑮陸の豊かさを守ろう」という2つのゴールがあります。

可燃ごみや不燃ごみとして、これまで処分していたものを、捨てる前に少し分別してみると、資源として再利用できるかもしれません。これは、多くの人ができる簡単なことです。ごみを適切に分別し可燃ごみを減らすことで二酸化炭素の排出量を減らすことにもつながります。リサイクルに回れば、プラスチックごみの減量にもなります。そうして「⑭海の豊かさ」や「⑮陸の豊かさ」を守ることにもなるのです。ＳＤＧｓと聞くと難しい言葉に聞こえますが、こうして自分の「できること」を意識して、そこから動きだし、やってみることが、ＳＤＧｓのゴールにつながっていくことになります。

町では、今後もごみの減量化と資源化に取り組み、自然豊かな町が続くよう努めていきます。すぐ「できること」から始めてみませんか。

新たな課題への対応

全国的に高齢化が進行しており、本町でも高齢者世帯や独居老人世帯が増加しています。これに伴い、ごみを地区のごみステーションに運ぶことが難しくなってきている家庭も増えており、対応の検討が必要になっています。現在は、介護保険サービスのメニューの一部やシルバー人材センターによる請負業務のサービスとして民間によるごみ出し支援事業が行われています。また、東部地区では、地域組織の「にっこりんく（伊藤正俊代表）」による助け合い活動の一環として、ごみ出し支援も展開されています。今後は、こうした地区住民同士による助け合いの支援なども重要になってくるものと考えられます。

ごみステーションの管理について

小国町衛生組合連合会
加藤隆芳会長

小国町衛生組合連合会は、ごみの分別の理解推進や道路一斉清掃、町中心部の側溝清掃に不法投棄防止パトロールなど、地域の衛生環境の保持を目的として活動しています。ごみを出す場合は、カラスなどによる被害防止のため、ごみステーションに搬入いただくようお願いします。また、ごみステーションの破損や修繕などについては、各地区衛生組合長までご連絡ください。

▲加藤会長が管理する
種沢地区ごみステーション

東部地区振興協議会・小国高校生　除雪ボランティア

頼もしい若い力が結集

大雪に見舞われた町内で除雪作業がままならない高齢者の一人暮らしなどの住宅を支援しようと、１月29日に東部地区振興協議会主催による地区内除雪作業が行われ、基督教独立学園生徒・職員や叶水中学生、地域おこし協力隊が参加しました。２月３日には、小国町社会福祉協議会の呼びかけで小国高校生と同社協、町教育委員会、小国警察署の職員が参加して作業を行い、汗を流しました。

▲東部地区振興協議会による除雪作業

ハタラトーーク！

社会人に「働く」のリアルを聞く

小国高校１年生が働くことや休日の過ごし方などを、町内の企業等に勤める社会人12人と話をすることで、働くことを自分事として捉え、進路選択などにつなげることを目的とした「ハタラトーーク」（主催：小国町教育委員会）が２月22日小国高校で行われました。参加した生徒は「実際に働いている人から話を聞くことができて、すごく身近に感じることができました。」と話してくださいました。

第71回“社会を明るくする運動”作文コンテスト山形県の部

岩﨑りあんさんが優秀賞受賞

学校や日常の生活などの体験を基に、犯罪非行について考えたこと感じたことを作文にする「第71回“社会を明るくする運動”作文コンテスト」の山形県小学生の部で岩﨑りあんさん（小国小学校６年）が優秀賞を受賞しました。「私にできること」と題し、いじめや差別をなくすために自分ができる４つのことをまとめました。岩﨑さんは「いじめや差別について深く考えるいいきっかけになりました。」と受賞について話してくださいました。

小国の未来を考えるＳＤＧｓワークショップ

小国高校生と町職員が共に学ぶ

持続可能でよりよい社会の実現を目指すＳＤＧｓをテーマに２月15日おぐに開発総合センターで小国高校１年生16人と町職員16人によるワークショップを開催しました。講師は小国高校で、ＳＤＧｓに関連付けた授業を展開している加藤真央教諭が務め、世界の現状と私たちの生活との密接なつながりについて解説し、その後、ＳＤＧｓの17のゴールに関わる町の事業について「よりよい未来」を目指し取り組めることを話し合いました。

協力隊通信
series 71

「人があたたかい町、小国町」
緑のふるさと協力隊　院去（いんきょ）　七穂（ななほ）

こんにちは。緑のふるさと協力隊の院去七穂です。
私は昨年４月に着任して以来１年間、町内で様々な活動をさせていただきましたが、任期満了につき、この３月をもって緑のふるさと協力隊を卒業します。４月からは大学へ復学し、卒業研究に取り組む予定です。
任期中は、沢山のかたと関わり、農作業、放課後子ども教室、地域行事、イベント企画、お茶飲みなど様々な体験ができました。１日として同じ日はなく、１人として同じ人はおらず、毎日がとても新鮮であっという間でした。小国町と小国町の皆さんに出会えて、本当に良かったです。
これから、私は小国町を離れることになりますが、絶対にまた遊びに来ますので、その時はよろしくお願いします。本当にお世話になりました、本当にありがとうございました！

▲２月に開催した雪のお城カフェでは多くのかたに喜んでいただきました（伊佐領）

協力隊通信
号外

結婚おめでとう

元地域おこし協力隊の根本俊輔さん　と
元緑のふるさと協力隊の千田有実子さん　が　結婚しました。

根本俊輔さんは、平成29年７月から令和２年３月までの期間、本町地域おこし協力隊として、東部地区で活動され、千田有実子さんは、平成31年４月から１年間、緑のふるさと協力隊として東南部地区で活動していました。
本町で出会った２人は、協力隊任期終了後の令和３年７月に入籍されました。おめでとうございます！！

未来に伝えたい
白い森おぐにの

文化遺産

その11 大宮の産屋

現代と違い、かつてはほとんどの家庭において、お産が自分たちの家でおこなわれていました。そのような時代、大宮子易両神社が鎮座する大宮集落では、自宅から離れた小屋（産屋）でお産をおこない、産後7日間は生まれた赤子とそこで過ごすという習わしがありました（※注）。これは、お産を、死と同じく不浄のものとして忌む古くからの観念によるものでした。

▲大宮の産屋と姥杉

この忌が明けるまでは「火を混ぜる」ことが禁じられ、例えば、煮炊き用の火は産婦のものと別にしなければなりませんでした。「その火の隔離を完全にするため、産婦が忌の期間中『別火生活』をするところが産屋である。」と、『小国の文化財』（小国町誌編集委員会編、１９９９年）では説明されています。

戦後、病院での出産が一般的になっていき産屋は使われなくなりましたが、地元ではコヤバと呼ばれた、その建物は解体されず今も残っています。昨年（２０２１年）２月、板橋春夫氏（日本工業大学教授）が編者となり刊行された『山形県大宮のコヤバに関する研究』には、小屋の変化を含め、そうした大宮における産屋習俗の変容過程がまとめられています。同書によると、この産屋が最後にお産で使われたのは昭和43年４月とのことです。

同書には、実際に産屋でお産をした方の体験談もつづられています。無事出産を終え、生まれてきた我が子と過ごす産屋での生活。それは、ゆっくりと産後の身体を癒やすことができる産婦の休養期間でした。その間は、朝食は自分の家が、昼食と夕食は集落の女性たちが交代で作って届けてくれました。また、自宅に戻ってもヒアキ（忌明け）までは仕事をしなくてよかった（させてもらえなかった）そうです。これは、産後数日もすると農作業など野良仕事に出なければならなかった当時としては珍しく、他の集落の人たちからうらやましがられる程のことでした。

大宮のように産屋習俗がかつてみられた地域は全国に点在しています。ただし、東北地方はその分布の希薄地域とされており、大宮の産屋は稀有（けう）な存在のようです。それに加え、「体験者が生存、建物が現存、情報が豊富、などを勘案すると、日本で最も重要な産屋と言えるだろう。」と、その民俗事例としての重要性について板橋氏は前掲書のあとがきのなかで述べています。

姥杉の巨木に守られ今なお残る大宮の産屋。それは、そのような高い学術的価値を有するのと同時に、命の誕生をみんなで協力して支え、受け入れてきた地域の姿を後世に伝える貴重な文化遺産なのです。

注　本文中に掲げた『山形県大宮のコヤバに関する研究』によると、明治22（１９８９）年までは出産の都度、仮設の産屋を建て、終わるとすぐに解体していたが、当時の小国本村分署長の命令を受け、常設の小屋が作られ、そこでお産がおこなわれるようになったということである。

（教育委員会生涯学習室）

「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穣の森の象徴であるブナの樹肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

今年度、小国町では、山形県みどり環境交付金を活用して様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くの住民を対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。

白い森みらい創生事業

【産学官連携による地域木材の利用と木育の推進プロジェクト】

町の豊かな森林資源の活用や、幼少期から木育の推進を目的に、産学官が連携して学生の演習、町民ワークショップなど様々な活動を実施しています。

町産材を用いて制作した家具を「ファーストファニチャー」として、毎年町内の３歳児に贈呈して使ってもらうことで、木への愛着を醸成しています。（３月12日配布予定）

木材加工場見学

町内広葉樹林の探索

森から拓く時代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機やチェーンソーに関する安全衛生教育研修を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。

▲刈払機研修会の様子

森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れる方々が快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。

▲環境整備されたセラピーロード

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

小学生を対象に、町内に生息する生物の観察や森林散策を通じて、森林環境やさまざまな動植物の特徴と役割について学びました。

森の楽校「いきもの調査」

森の楽校「いきもの探し」

白い森づくり体験事業

【植林・森林体験学習】

町内小学５年生を対象に、植林作業等の実演見学、植林および伐倒体験を行い、森林資源の循環利用の必要性や意義を学びました。

植林した苗をバックに

造林作業を映像で学習

後期高齢者医療保険料の保険料率が変わります

後期高齢者利用制度の保険料率は、医療費などの推計を基に、２年ごとに見直しを行っています。

令和４・５年度の保険料率は、令和２・３年度と比べると医療費等の増加が見込まれることから、保険料の賦課限度額と併せて、次のとおり改定されます。

■保険料率

（R２・３年度）→（R４・５年度）

・所得割率　8.68%　→　8.80%
（所得に応じて負担していただく分を算定する際の率）

・均等割額　４万3,100円（変更なし）
（加入者が公平に負担していただく分）

■保険料の賦課限度額

（R２・３年度）→（R４・５年度）

・賦課限度額　64万円　→　66万円
（年間保険料の最高額）

■その他

保険料率の詳細は、７月に保険料決定通知書とともに送付されるリーフレットに記載されます。

■問合先

町民税務課課税担当（☎62-2403）へ

千代田クリーンセンター「くりえいと工房」再生品の提供

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び無償提供を行っています。

■提供品　自転車10台、家具類５点（各回予定数）

■応募方法

千代田クリーンセンターに備え付けの申込用紙により応募してください。応募する際に身分証明書が必要となります。複数応募があった場合、抽選により当選者を決定します。

■時　間　９：00～16：00（㈰、㈷を除く）

	展示期間	公開抽選 ※午前10時
第１回	４月６日㈬～５月７日㈯	５月10日㈫
第２回	６月１日㈬～７月２日㈯	７月５日㈫
第３回	８月３日㈬～９月３日㈯	９月６日㈫
第４回	10月５日㈬～12月３日㈯	12月６日㈫

■料　金　無料

■問合先　千代田クリーンセンター（☎0238-57-4004）へ

就労無料相談会のご案内

15歳から49歳までの若者の就労支援を行う「置賜若者サポートステーション」がお仕事に対して悩みを抱えたかたを対象に相談会を開催します。秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

「置賜若者サポートステーション」はＮＰＯ法人Ｗｉｔｈ優（米沢市）が厚生労働省から委託を受け、運営しています。

※電話予約が優先となりますが、予約なしの相談も可能です。

■ハローワーク長井　出張相談会

日時　３月29日㈫９：00～16：00　**場所**　ハローワーク長井　１階

■ハローワーク米沢　出張相談会

日時　３月31日㈭９：00～16：00　**場所**　ハローワーク米沢　４階　中会議室

■問合・予約先

置賜若者サポートステーション（☎0238-33-9137・メール：info@okisapo.org）へ

１市３町による公の施設（文化施設）の相互利用のご案内

西置賜１市３町の小国町、白鷹町、飯豊町および長井市は、公の施設（文化施設）の利用促進、住民間の交流拡大、住民福祉の増進を図るため、各市町が設置する公の施設のうちホールを有する文化施設において、相互利用に関する協定を締結しました。

▲１市３町による協定を締結（２月21日）

■相互利用とは

１市３町の住民および団体は、各施設をその市町の住民と同じ条件で利用することができます。

■利用開始日について　４月１日㈮の使用（利用）申請から対象

■料金について

対象となる施設の条例等で定める使用（利用）料金が１市３町の住民および団体に適用されます。施設ごとに使用（利用）料金が異なりますので、詳しくは各施設にお問い合わせください。

■対象施設

・長井市民文化会館　【☎84-6051】
・おぐに開発総合センター　【☎62-2141】
・白鷹町文化交流センター（あゆーむ）【☎85-9071】
・飯豊町町民総合センター（あ～す）　【☎72-3111】

■問合先　教育振興課生涯学習担当（☎62-2141）へ

令和４年 第２回 小国町議会臨時会

令和４年第２回臨時会が２月14日に開催されました。令和３年度一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決されました。内容は次のとおりです。

一般会計に7535万円を追加

１月中に２回、補正予算による除雪経費の追加を行いましたが、その後も断続的に降雪が続き、町道除排雪作業の稼働日数・時間が増加したため、除排雪経費を追加したほか、高齢者等の除雪を支援する高齢者等暮らし応援事業の一世帯あたりの利用上限額を７万２千円に引き上げしました。また住宅道路除雪の回数を週４回に拡充したことによる経費の追加とあわせ、補正後の予算総額は、76億8481万1千円となりました。

マイナンバーカードで マイナポイント 第2弾

9月末までに
マイナンバーカードを取得・活用して
マイナポイントをもらおう
最大２０，０００円分
（①②③合計）

■**問合先**　町民税務課住民窓口担当
（☎62－2260）へ

①マイナンバーカード取得

マイナポイント第１弾に
申し込んでいないかた※１
５，０００円分付与※２

→ ポイント申込・付与
≪受付中≫

※１　第１弾でポイントを取得済みのかたは対象外。
※２　ポイント申込後、選択したキャッシュレスサービスで
令和５年２月末までにチャージかお買物をする必要があります。

②健康保険証利用の申込

７，５００円分付与

→ 保険証利用の申込
≪受付中≫
ポイント申込・付与
≪６月頃≫

③公金受取口座の登録

７，５００円分付与

→ 公金受取口座登録
≪春頃≫
ポイント申込・付与
≪６月頃≫

※最新情報を含めた詳細については、
マイナポイントのホームページを確認してください。 →

マイナンバーカード休日窓口を開設します【予約制・前開庁日までに予約】

申請・交付・更新、保険証利用の設定等に関する窓口を開設します。

■**日　時**　３月13日㈰９：00～16：00
■**場　所**　役場２階　町民税務課住民窓口
■**受付可能手続**　①申請・交付②暗証番号変更・再設定③券面記載事項変更
④電子証明書の更新⑤保険証利用の設定
■**必要書類**　予約の際にお問い合わせください。
■**予約・問合先**　町民税務課住民窓口担当（☎62-2260）へ

入札結果情報（令和４年１月21日～令和４年２月20日実施）

単位(円)

入札日	工　事　名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
R4.2.17	令和３年災第2652号町道市野々黒沢峠線道路災害復旧工事	市野々	R4.3.31	25,910,000	大和建設運輸㈱	24,300,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

結婚相談会【置賜会場】のご案内

「やまがた縁結びたい」による無料結婚相談会【置賜会場】を開催します。お気軽にご利用ください。

■令和４年度相談日程表（上半期）

期　日	時　間	申込締切	期　日	時　間	申込締切
４月23日㈯	13：00～16：45	４月21日㈭	７月23日㈯	13：00～16：45	７月21日㈭
５月28日㈯		５月26日㈭	８月27日㈯		８月25日㈭
６月25日㈯		６月23日㈭	９月24日㈯		９月22日㈭

■会　場　やまがたハッピーサポートセンター置賜支所
（米沢市大町5-1-29　Aoiビル2F北）

■対象者　結婚を希望するかた　各回５組（１組45分程度）
（ご本人が出席できない場合、父母も可）

■申込・問合先
やまがたハッピーサポートセンター
山形センター（☎023-687-1972）または
置賜支所（☎0238-27-7190）へ
※置賜支所営業日：㈭、㈮、㈯10：00～19：00

■「やまがた縁結びたい」について【ボランティア仲人募集中】

結婚を希望する独身男女の出会いの機会を拡大するために仲人活動を行うボランティア団体

・活動内容
相談者対応、相談者にふさわしいお相手探し（定期的な情報交換会への参加）、お見合いの設定

・活動経費
報酬はありませんが、活動経費の一部として、お見合い１件につき５００円の支援金を交付します。

・登録要件　所定の研修を受講すること。

・申込・問合先
やまがたハッピーセンター事務所（☎023-615-8755）へ

借金返済に関する相談窓口のご案内

返しきれない借金でお困りのかたは、まずはお電話を。相談は秘密厳守・無料。

■相談専用電話　☎023-641-5201へ

■受付日　８：30～16：30
（土日祝・年末年始を除く）

■問合先　山形財務事務所理財課
（☎023-641-5178）へ

広告
次世代に　受け継いでもらえる　住まいづくり・まちづくり
DESIGN WORKS
中　原　企　画　設　計
TOTAL BALLANCE HOME & TOWN
一級建築士・宅地建物取引士　中　原　久　平
■一級建築士事務所　山形(1904)701
■宅地建物取引業　山形(7)1628
山形県西置賜郡小国町大字湯花145
e-mail:nakahara@ic-net.or.jp
URL:http://nakahara-kikaku.com
連絡先 TEL0238-62-2332　FAX62-2785

お知らせ

各種登記の手続案内は電話対応となります

法務局では、新型コロナウイルス感染症対策として、登記手続案内について当面の間、電話で案内を行っています。また、登記手続案内は完全予約制となります。詳しくは、山形地方法務局ホームページをご覧いただくか、左記までお問い合わせください。

■**問合先**　山形地方法務局米沢市局（☎0238-22-2148）へ

2022年前期AIRY日本語教室のご案内

県国際交流協会（AIRY）では、3~7月に日本語教室を開催します。

■**クラス**　①中級②JLPTN3合格（日本語能力試験N3合格を目指す）

■**開講日**　①4月14日㈭10時30分（毎週㈭・2回目以降オンライン）②3月17日㈭6時30分（毎週㈫㈭）

■**場所**　県国際交流センター

■**費用**　①5千円（会員1千円）②9千円（会員5千円）

■**申込・問合先**　（公財）県国際交流協会（☎023-647-2560）へ

協会けんぽ保険料率変更

協会けんぽ山形支部の保険料率は令和4年3月分（4月納付分）から左記のとおり変更になります。

	健康保険料率	介護保険料率
	10.03%	1.80%
	↓	↓
	9.99%	1.64%

今年度の保険料率引き下げには、皆さまの健康づくりの取り組み（インセンティブ制度）の結果が大きく影響しております。

加入者の皆さまの医療と健康を支えるため、ご理解いただきますようお願いいたします。

■**問合先**

全国健康保険協会山形支部企画総務グループ（☎023-629-7226）へ

やまがたWEBワークフェス開催

ZOOMを使用したオンライン合同企業説明会を開催します。

■**日時**

3月4日㈮~6日㈰

■**参加企業**

100社以上

■**対象**

・令和3・4年度3月に卒業予定の学生
・Uターン希望者
・山形県内企業での就職を希望されているかた

■**参加方法**

左記のQRコードより事前登録してください。

■**主催**

山形労働局・山形県・山形市・県内各ハローワーク

■**問合先**　やまがたWEBワークフェス運営事務局：キャリアバンク㈱山形オフィス（☎023-633-5608）へ

こころの健康相談統一ダイヤルのお知らせ

3月は「自殺対策強化月間」です。毎年この期間中の1週間を「こころの健康相談統一ダイヤル」として、悩みを抱えた人の相談をお受けしています。（秘密厳守）

■**相談期間**　3月1日㈫~7日㈪　9時~17時

■**電話番号**　☎0570-064-556まで

■**問合先**　県精神保健福祉センター（☎023-674-0139）へ

イベント等の開催について

新型コロナ感染拡大防止の観点から下記のイベント等は延期・中止となりました。

○白い森スノーフェスティバル（2/26㈯、27㈰）
→3/12㈯、13㈰に延期
○雪の学校（3/5㈯）→中止

■**問合先**　産業振興課（☎62-2416）へ

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、掲載されているイベントが中止・延期になる場合があります。
開催状況については、各問合先に確認してください。

＊子育て支援センターから＊

■３月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	９：30～11：30・13：00～15：30 (水･金は午後のみ。3/28㈪～4/4㈪まで休み)	不要
子育て講座「ヨガ」	3/ 8㈫10：20～11：20・健康管理センター ※動きやすい服装でタオル・飲み物をお持ちください。		要

■対象者　就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

・マスクの着用をお願いします。
・平熱より１度高い場合は発熱となり利用できません。
・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談をお受けしています。

■問合先　子育て支援センター（おぐに保育園内 ☎62-2330）へ

休日当番担当歯科医のお知らせ

３月６日㈰	米沢　中川歯科医院	0238-23-2062
３月13日㈰	南陽　いとう歯科クリニック	0238-50-0418
３月20日㈰	長井　鈴木歯科医院	0238-84-6616
３月21日㈪	米沢　伊藤歯科医院	0238-23-1538
３月27日㈰	高畠　むらかみ歯科医院	0238-52-4855

令和４年度民間国際交流団体活動推進支援助成事業の募集

（公財）山形県国際交流協会では、地域の国際化に資する国際交流を行う民間の団体に対し助成を行います。希望される団体は下記まで申請してください。

■事業対象期間

４月１日㈮～令和５年３月31日㈮

■申請期限

３月16日㈬

■申請上限額

20万円（複数団体との連携・共同事業は上限30万円）

■その他

詳細はホームページをご覧になるか、問合先までご連絡ください。

■問合先

（公財）山形県国際交流協会
（☎023-647-2560）へ

求人情報

右の表は２月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
ひさご電材㈱	内職担当／山形県	１人	８：30～17：30
㈲三栄自動車工業	自動車整備士	２人	８：30～17：30
大河内産業㈲	一般作業員	２人	８：00～17：00
荒川興業㈱	（請）製造加工【アークカーボン加工　メッキ工程】臨時職員	１人	８：20～17：10他
	製造加工／臨時職員	１人	８：20～17：10
㈱ビーネックステクノロジーズ仙台オフィス	生産設備の回路設計業務	１人	８：20～17：10
長谷川工業㈱小国工場	加工スタッフ（ＮＣ施盤）	１人	８：15～17：15
	加工スタッフ（マシニング）	１人	
㈱山芳工務店	電気設備工（見習い）	３人	９：00～18：00
㈱高橋工務店	重機オペレーター	３人	８：00～17：00
クアーズテックマシナリ㈱	技能職（溶接・組立）	１人	８：20～17：10
日本重化学工業㈱山形事業所小国工場	電子材料の製造等スタッフ	20人	８：15～17：15他
	電子材料の製造等スタッフ（契約社員）	10人	
㈱横川建設	現場管理（１級または２級土木施工管理技士）	１人	８：00～17：00
	作業員（分別作業等）	２人	
	重機オペレーター見習い	２人	

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税　2022.3

３月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●３月28日㈪　水道料
●３月31日㈭　国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
（62-2403）へ

戸籍のまど

（１月届出分）

誕生おめでとうございます。

小国町沼澤 佳穂（かほ）（強早）　太織

おくやみ申し上げます。

舟	渡	塚原 忠四郎	(100)
幸	町	髙橋 春子	(73)
小国小坂町		齋藤 勇太	(84)
増	岡	米野 もも子	(86)
小国小坂町		今 正徳	(82)
兵庫舘		富田 勇藏	(90)
小国小坂町		本間 芳夫	(91)
五味沢		齋藤 美佐子	(88)
岩井沢		塚原 勝雄	(92)
緑	町	後藤 賢治	(86)
岩井沢		見川 トヨ	(87)
小国小坂町		大沼 嘉代子	(89)
小国小坂町		佐藤 ムツ	(87)
あけぼの		佐藤 キヌ子	(83)
沼	沢	佐藤 志つ子	(89)
岩井沢		柴田 重博	(85)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和４年１月31日現在）

人口	男・・・3,534人	（－ 7）
	女・・・3,535人	（－ 9）
	計・・・7,069人	（－ 16）
世帯数	3,012世帯	（＋ 1）

編集後記

北京オリンピックでの平野歩夢選手は最高にかっこよかったですね。ハーフパイプに挑戦する小国の子どもが増えるのではと期待します。さて、早いもので、もう３月です。卒業、入学の季節です。あらゆるイベントが中止になる今ですが、卒園式・入学式が開催され息子の立派な姿が見られるよう願うばかりです。（仁科）

総合センター図書室から

～新着図書～　休館日 毎週月曜日・祝日

◇護られなかった者たちへ	中山七里
◇桎梏の雪	仲村燈
◇七転八倒百姓記	菅野芳秀
◇残照の頂 続・山女日記	湊かなえ
◇お天道様は見てる 尾畠春夫のことば	白石あづさ

３月のあいべイベント

春休み子どもスポーツ教室
幼児・児童サッカー教室

■**日　時**　３月27日㈰９：30～11：30
■**対象者**　保育園年中児～小学３年生
■**参加費**　100円（保険料込）
■**持ち物**　室内シューズ、飲み物など
■**申込締切**　３月26日㈯

■**申込・問合先**
（☎62-5808）へ

特定非営利活動法人 おぐにYui スポーツクラブ

緑のふるさと・地域おこし協力隊
活動報告動画公開中

緑のふるさと・地域おこし協力隊４人が本町を舞台に１年間、様々な活動を行いました。

２月３日に予定していた活動報告会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。各隊員ごとに活動報告の動画を制作しましたので、ご覧ください。

活動報告会の様子はこちらから →

挑め、ともに！

～小国高校魅力化通信⑪～

白い森未来探究学　地域実践学　マイプロ成果発表会

1月31日、2年生それぞれが1年間取り組んだ「マイプロジェクト」の成果発表を行いました。

生徒は5分科会に分かれ、町内外の協力者10人に講評していただきました。また発表会は、見守ってくださった保護者の皆さまや交流のある他の小規模校のかたがたにも、オンラインでご覧いただきました。

それぞれのテーマは「世界にアニメの魅力を発信する」「イラストレーターになる」「人が繋がるきっかけになる場所作り」「映画を撮る」など、今年も十人十色。1年間の取り組みから得た経験や今後の展望、そして失敗談に至るまで堂々と発表してくれました。

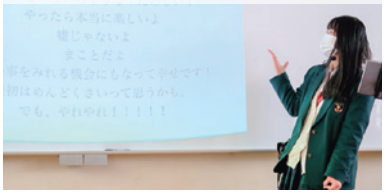
■生徒の声

「1年間のまとめができた。振り返って見ると様々な人にお世話になっていて感謝の気持ちが出てきた。感想を書いてもらうグッジョブカードがあたたかくて嬉しい！」

「自分のやりたいことを外に出してみたら、誰かのNeedsにぶつかるかも」

「感想で共感してくださった大人のかたがいて、グッジョブカードでは3年生のかたが自分の経験と合わせて共感してくれていて、少なからず伝わった人がいて嬉しかった」

「小国町の人、優しすぎ」



コロナに負けない　お店紹介 vol.11

「コロナに負けないお店紹介」と題し、シリーズで感染防止対策に取り組み営業する飲食店を紹介していきます。（メニューは税込み価格です。）

天ザルそば　1,650円

民宿の越後屋（小玉川）

■電話　64-2430

■営業時間　11時～14時（年中無休）

店主より一言

天ザルでは岩魚の寒風干しの中骨を抜き丸ごと楽しめる天ぷらなど、地元食材を使用しています。岩魚のルイベ（500円）もオススメです。

レストハウス すかいろーど（町原）

■電話　090-3643-7012

■営業時間　12時～13時30分　(日)・(祝)定休

店主より一言

ピリッと辛いソースでやみつきチキン悪魔風ステーキ（800円）、生地からてづくりのピザ（2,000円・要予約で日祝も可）もオススメです。

カツカレー（ドリンク付き）　1,000円

No. 809
広報おぐに
2022-3-1

ドローンがみた、おぐにの風景 No.32

㉜雪のお城カフェ～ snow castle in oguni ～

豪雪地帯の本町において、雪はできるだけ降らず、できるだけ早く消えてほしい。そう思っているかたも多いと思いますが、そんな豪雪を活かした新たなイベントが誕生しました。

２月11日から12日の２日間、伊佐領地区に突如出現したのは雪のお城カフェ。町が地域を担う若者を育成するワカモノプロジェクト「小国☆地域みらい塾」の修了生が企画・開催しました。田んぼの上に積み上げた雪を切り崩し、雪のブロックを重ね、城壁を再現。訪れたかたがたは、氷の皿に彩られた手作りスイーツに歓声をあげ、幻想的な空間に心を奪われていました。

編集発行／小国町役場総合政策課
〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地 TEL0238（62）2111(代) ホームページ http://www.town.oguni.yamagata.jp
携帯電話向けサイト http://www.town.oguni.yamagata.jp/m/index.html FAX0238（62）5464
印刷／㈱青葉堂印刷